

令和元年度病害虫発生予察指導情報

対象病害虫：イネ・トビイロウンカ（No. 2）

令和元年 9 月 9 日
鳥取県病害虫防除所

1 情報の内容

9月9日現在、県東部の平坦地の一部ほ場でトビイロウンカによる坪枯れを確認しました。5月下旬までに移植した中生～晩生品種栽培ほ場では、今後、トビイロウンカの急増による坪枯れの発生が懸念されますので、特に注意が必要です。

2 発生状況

- (1) 9月9日現在、県東部の一部ほ場でトビイロウンカによる坪枯れを確認した。いずれのほ場も5月下旬までに移植した早生品種栽培ほ場である。
- (2) 坪枯れが発生した地区の「きぬむすめ」栽培ほ場において、要防除水準（成幼虫数10頭／株）を超えているほ場が確認された。いずれも、坪枯れが発生したほ場と同時期に移植したほ場である。
- (3) 現在、ほ場での発生の主体は、成虫および若～中齢幼虫である。また、予察灯への成虫の誘殺が8月末に県内全域で確認された。

3 防除上注意すべき事項

- (1) 5月下旬までに移植した中生～晩生品種栽培ほ場では、今後、トビイロウンカの急増が懸念されるので、発生状況に十分注意する。
なお、坪枯れが確認された地域では、坪枯れ発生ほ場と同時期に移植したほ場での発生状況を特に注意する。
- (2) 中生～晩生品種栽培ほ場の防除時期は9月中旬頃（要防除水準は幼虫数10頭／株）であるが、坪枯れを確認した場合は、粉剤、水和剤などで直ちに防除を行う。
- (3) 収穫時期が近いので、防除にあたっては農薬の収穫前日数及び総使用回数に注意するとともに、農薬の使用基準を遵守する。また、散布の際、本種の生息場所である株元に農薬が十分かかるようにする。また、周辺ほ場に農薬が飛散しないよう十分に注意する。
- (4) 収穫期が迫り、防除が出来ないほ場は収穫適期の範囲内で早めに収穫する。
- (5) 必要以上に早い落水は、坪枯れの発生を助長するので、適期落水に努める。



【トビイロウンカ成虫と幼虫】



【トビイロウンカが多発したイネ株の株元の様子】



【トビイロウンカによる坪枯れ】